

華藏寺通信

檀信徒会会長挨拶



「檀信徒会の皆様へ」

令和二年オリンピックで賑やかに
なる年が予想外の年となりました。
新型コロナウイルス感染のニュー
スで始まりコロナ蔓延で終わる、
というのではなく、疾病はなお拮
大の一途を見せているからです。
初めは中国やイタリアでの惨事の
様子を、テレビ画像を通して目の
当たりにして驚きと戸惑いを感じ
ながらも、対岸の火事という意識
が強かったのですが、終息の兆し
が全く見えず、世界各地で感染者
の異常な増加が続くことで、その
実感が否応なく緊張感を押し付け

てきています。年々、変容してい
く自然災害とともに、経済・教育・
文化という、生活と切り離せない
重要な分野に多大な影響を及ぼし
ています。コロナ禍での生活スタ
イルの変化が、現在の大きな課題
となつていますが、わたし達自身
もいま一度、そのことを真剣に考
え直さなければならぬ時期に來
ていると言えるでしょう。

檀信徒会も皆様の安全面を考慮し
て、今年度の総会は中止とし、役
員会のみで決議をして皆様には書
面にてお知らせするという形をと
りました。その他諸々の行事も中
止となりましたが、昨年度より皆
様から頂いておりますご協力・ご
支援による永代供養塔は無事完成
致しました。また、本堂改修工事
も十月より着工され、来年八月の
完成を予定しております。その間、
本陣は奥広間に移設されておりま
す。

本堂完成の暁には、檀信徒会が一
堂に会し、いま一度、歴史ある華
藏寺の一層の護持、皆々様、地域
の方々、そして次の世代へのつつ
がない安寧を祈禱する機会を持て
ますよう、切に願っております。

嬉しいお知らせとして、七月に祐
幹住職ご夫妻に長女が誕生されま
した。檀徒を代表して心からお祝

いを申し上げたいと思います。次
の世代の誕生は、誰にも元気を与
えてくれる思いが致します。わた
し達は先人としてこれからの世代
の為に、変えていくもの・守りつ
ないで残すものをしっかりと見極
めて行動して行かねばならないと
改めて考えさせられた年だったと
思います。

新型コロナウイルス感染という世
界的な危機は人類に実に多くのこ
とを教えてくれています。わたく
し達はこれらを真剣に受けとめね
ばなりません。信徒会の皆々様に
は年の変わり目に際し、健康面に
十分のご注意を下さいますよう。
また今後とも、華藏寺への変わら
ぬご支援を賜りますようお願い申
し上げて、ご挨拶と致します。

華藏寺檀信徒会会長

川端護



住職挨拶

「世話人様とは」

謹啓 師走の候、檀信徒の皆様にお
かれましては、時下ますますご清祥
の段、お慶び申し上げます。平素は
華藏寺護持に対しまして格別のご高
配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、華藏寺のお檀家様は現在一
二〇〇名ほどいらっしゃいます。そ
の各地区を守る世話人様は現在四七
名です。地方寺院としてはかなり多
い部類に入ります。その華藏寺で大
規模事業を行う場合は、必ず檀信徒
総会を行い、檀信徒様の代表である
世話人様の承認を得なければいけま
せん。言うなれば世話人様は皆様の
議員となります。檀信徒様の為、ご
自身もお忙しい中、お寺の為に奔走
してくださる大事な方です。華藏寺
では檀信徒の皆様を世話人様ごとに
区分けさせていただいております。
お盆の塔婆受渡し時なども担当世話
人様のお名前前で判断する場合もござ
いますので、皆様もご自身の地区の
世話人様をお忘れ無きようお願い申
し上げます。

合掌

住職 藤井祐幹

本堂改修工事開始

皆様のお力添えにより、令和元年より三年間のご寄付を募り、本堂改修工事が始まりました。

古来は「一寺建立（いちじこんりゆう）」と言われ、大名達はお寺を創建することが最大の徳行と考え、こぞって各地にお寺を建てたそうです。皆様方もその一端を担って頂き、最大の善行をされていると存じます。

さて、工事が進むにつれ、本尊の台座は腐食し、土壁が剥がれ落ち、天井は穴だらけ、床は抜けそう、と二百年程前に火災に遭い再建された本堂は、皆様のご先祖様を護りつつも長い年月により蝕まれていることがよくわかります。お檀家様のご協力での時代に修繕が出来たことに本当に感謝申し上げます。完成は来年の八月を予定しております。

華蔵寺住職 藤井祐幹
建設委員会一同

☞天井を剥がしています。



☞壁の中にはお経が張られています。



☞2000年のほこり。



☞お厨子（本尊を安置する箱。仏壇の原点。）の裏。嘉永年中。



☞お厨子の天井には龍の絵が。



☞本尊の台座。動かした途端に崩れました。



☞空になったお厨子。



☞天井をはがし終わり、お厨子と須弥壇もなくなりました。



改修工事現状

●フェイスブック

「天台宗 華蔵寺」で検索

●インスタグラム

「華蔵寺」アカウントで検索

その他様々な情報も更新中です。

歴代の奉納品

●石燈籠（全て二基ずつ）

平成四年

斎藤和多留様

平成十年

斎藤みどり様

平成二十年

瀧澤政次様

平成二十三年

木暮軍平・由貴様

●十三重塔
平成四年

亀井家一同様



仏具や墓地に魂を

ご自宅の仏像・仏壇・位牌・墓地を破棄する場合は古仏発遣（こぶつはっけん・魂抜き）を、新しくする場合は開眼（かいげん・魂入れ）をしましょう。開眼をしない仏具はただの箱となってしまいます。必ず華蔵寺までご連絡ください。

家族葬は華蔵寺で

コロナ禍という事もあり、形は様々ですが、華蔵寺檀信徒様で亡き故人様の葬儀を怠る方はいらっしゃいません。その中でも、すでに数件の葬儀を華蔵寺で執り行わせて頂きました。伊勢崎ではかなりの低価格ですが、内容は大変丁寧だったとお言葉を頂いております。



現在は改修中です。大広間で葬儀となります。お気軽にご相談ください。

最高齢のご供養

行年一〇八歳 滝沢ユキ儀
清育院光室妙雪大姉位

母の三回忌に際して、一言ご挨拶させて戴きます。他界したときの年齢は一〇八歳で、華藏寺の中で最長老でした。ここまで長生き出来たのは体が健康だったことに加え、好き嫌いがハッキリして、嫌なことを拒否することによりストレスを溜め込まない生活を一生涯貫き通せたからだと思えます。

尚、母の血は子供三人、孫九人、曾孫十三人に引き継がれました。今回の様な供養を通じて、華藏寺に納骨されている方々と末永く仲良く過ごしていければと思っております。

施主 滝沢純一



世話人様のご紹介

「華藏寺と花」

我が家は、市の公園緑地課主催のオーブンガーデンに参加しています。そこに華藏寺の住職夫妻がお越しくださり、それがもとでこの文を書くということになりました。

手元に明治三十四年発行の「丘林山華藏寺之景」と、明治十八年陸地測量部発行の二万分の一の地形図があり、華藏寺之景には桜が、地形図には「花藏寺」と表記されています。

花も華も意味は同じですし、現在では萩の寺として知られ、華藏寺と花には深い関係がありそうです。

ところで、当方も古くから華藏寺にはお世話になっていますが、その中で花に関する話を一つ紹介します。だいぶ前の話のようですが、華藏寺に多くのお小僧さんがいたころ、春になると本尊様にお供えする椿の花を、お小僧さんが当家に取りに来ていたそうです。

その椿がまだ庭に残っています。このように華藏寺と当家とは花を仲立ちとした関係を見ることができます。新型コロナウイルス

スの関係で落ち着きませんが、令和三年の春四月にはまた、オーブンガーデンが開催できると思います。皆様ぜひお出かけください。



華藏寺地区 菊池章行

ご年始受け

お檀家様の元旦の参拝は、本堂ではなく書院にて通常通り行いますので、お気軽にお越し下さい。甘酒をご用意しております。書院玄関よりお入り下さい。

護摩供養 厄除大般若法要

元旦の護摩供養と一月十日の大般若法要は、本堂改修の為、令和三年に限り中止とさせて頂きま

私事ですが、

令和二年七月八日に2940gの女の子が元気な産声を上げて産まれました。華藏寺のお檀家様である内田靖裕様が料理長を務めるフクイ産婦人科クリニック様にお世話になり、工夫された美味しいご飯とおやつが妻の毎日の楽しみになり、とても力になったそうです。

妊娠中や出産後もお檀家様や沢山の方々から励ましやお祝いの言葉を頂きまして、ありがとうございます。今後とも家族共々宜しくお願い申し上げます。

